



# アジア弁理士協会日本部会

事務局：Y K I 国際特許事務所

〒180-0004

東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-34-12

TEL : 0422-21-2666 / FAX : 0422-21-2431

www.apaa-japan.jp

2011年5月吉日

アジア弁理士協会日本部会  
会員各位

アジア弁理士協会日本部会  
会長 竹内 耕三

## APAAマニラ理事会開催通知

拝啓 時下ますますご清祥のことお慶び申し上げます。

さて、来る2011年11月12日(土)～15日(火)の期間、フィリピン、マニラにおきまして、第59回APAA理事会が開催されます。フィリピン部会からの案内書(英文)を同封の上ご通知申し上げます。

登録手続きは、オンライン登録(5/1～)をお勧めいたします。ファクシミリ又はeメールで手続きをされる場合は、登録フォーム及びホテル予約フォームに必要事項を記載して、APAA 2011 Secretariat (IPAP)へお送り下さい。登録フォームの最後に会員の署名及び日付欄がありますので、ご留意下さい。

英文案内書をお読みの上登録申込みをして頂きますが、いくつかの注意事項とエクスカーション及び同伴者ツアーのコースを日本語でまとめましたので、ご参考になれば幸いです。

マニラ理事会の早期割引登録期間は8月31日(水)ですが、参加可否及びホテル予約は早い順で処理されるため、参加を予定している方はできるだけ早く登録申込手続きをお願いします。

なお、登録後にキャンセルをする場合には、各種キャンセル費用を必要としますことに充分ご注意ください。

敬具

別紙関連書類

1. APAAマニラ理事会案内書(英文)
2. 旅行会社の旅行案内(3社分)

## 登録手続きの注意

### I 会議登録について

- |         | 早期割引      | 通常        |
|---------|-----------|-----------|
| (1) 登録料 | (8月31日まで) | (9月1日以降)  |
| 会員      | USD 1,180 | USD 1,400 |
| 同伴家族    | USD 950   | USD 1,150 |
| 同伴事務所員  | USD 1,450 | USD 1,750 |
- (2) 登録手続
- ・ 5月1日よりオンライン登録 (<http://apaa2011.org/>) が可能。この方法を推奨する。
  - ・ 同封の登録フォームを用いる場合は、ブロック文字で必要事項を記載して、eメール ([mail@ipap.com/ph](mailto:mail@ipap.com/ph)) 又はファクシミリ(632-687-6713)で、APAA 2011 Secretariat に送付する。
- (3) 登録料の支払い
- ・ 登録フォームの **Summary of Payment** の欄に必要な金額を記載する。
  - ・ 支払いはクレジットカード(Master Card/Visa/JCB/American Express) によるか、又は銀行振替による。
- (4) キャンセルの申し出
- 書面で APAA 2011 Secretariat に通知しなければならない。なお、キャンセルの通知日により返金額が異なる。
- 例) 8月15日までのキャンセルの場合のキャンセル料・・・USD200
- (5) 10月16日以降の登録については必ずしも保障されない。(10月15日までに登録を済ませると当日配布される参加者リストに名前が掲載されます)
- (6) 登録フォーム記載に関する注意事項
- イ) ・会員については、会員番号 (Member ID) [JP〇〇〇〇] を必ず記載する。  
  なお、日本部会ウェブサイトで会員IDのリストを確認することが出来ます。  
  <http://www.apaa-japan.jp/office/index.html>  
  ・T シャツのサイズ、エクスカーションのコースを選択する。
- ロ) ・同伴家族については、同伴家族用番号(AFPID) [JP〇〇〇〇-AFP〇]を記載すると共に、同伴家族との関係を記載する。(JP〇〇〇〇は上記 Member ID、AFP〇は一人目の時はAFP1、2人目の時はAFP2 とする。)  
  ・T シャツのサイズ、エクスカーションのコースを選択する。同伴者ツアーについては各日毎に一つの希望ツアーにチェックを入れる。
- ハ) ・同伴事務所員については、『無資格の、参加メンバーの所属事務所員』であって、1人の会員に2名まで同伴して参加することができる。従って、会員と同じ事務所の弁理士については、次のいずれかの手続きをとらなければ参加できない。  
  ①APAA 日本部会に入会の申し込みをして、会員として参加申し込みをする。  
  ②一回だけは、オブザーバーとして参加可能である。この場合は、登録料が約50%高額になると共に、参加者名簿にはオブザーバーの頁に記載されることになる。
- ・ 同伴事務所員用番号(AOPID) [JP〇〇〇〇-AOP〇] を記載する。(JP〇〇〇〇は上記 Member ID、AOP〇は一人目の時はAOP1、2人目の時はAOP2 とする。)
  - ・ T シャツのサイズ、エクスカーションのコースを選択する。

## II ホテル宿泊予約について

- (1) ホテルの予約を希望する場合は、ホテル予約フォームにホテル名、到着日、チェックイン日、出発日、チェックアウト日を記載し、ホテルの希望順を1, 2, 3と記載する。また、到着、出発のフライト番号が判っていれば記載する。10月15日までに予約が必要である。

複数の部屋が必要な場合、該当頁をコピーして記入して下さい。

個人で予約する場合（旅行代理店に予約をお願いする場合も含む。）は、「予約希望なし」のチェックを入れるとともに、予約済みのホテル名を記載する。

- (2) 宿泊予約のために一泊分の前払いをしなければならない。
- (3) 宿泊予約のキャンセルについては、書面で APAA 2011 Secretariat に e メール又はファクシミリ経由で通知しなければならない。10月15日以降のキャンセルについては一泊分の前払い金が返金されない。

以上を参考にして参加者は登録の申込み及びホテル宿泊予約を各自行って下さい。登録等に関して何か疑問点がございましたら、事務局にご相談下さい。

以上

APAA日本部会事務局

担 当 加藤 晴子

〒180-0004

東京都武蔵野市吉祥寺本町 1-34-12

YKI 国際特許事務所内

Tel. 0422-21-2666 Fax. 0422-21-2431 e-mail: apaa-japan@yki.jp

## APAA マニラ理事会プログラム

### 11月12日 (土)

- (08:00-19:00 登録、及び、インフォメーション、ツアーデスク利用時間)  
9:00-12:00 Ad Hoc Committees and Groups Meetings: (招待者のみ)  
12:00-13:30 Lunch for ExCom/AdCom (委員のみ)  
13:30-14:00 休憩  
14:00-16:00 Joint Meeting of ExCom and AdCom  
17:00-18:00 初参加者の歓迎会  
18:15-19:15 オープニング・セレモニー  
19:15-21:00 ウェルカム・レセプション  
21:00-24:00 ホスピタリティー・スイート

### 11月13日 (日)

- (08:00-19:00 登録、及び、インフォメーション、ツアー・デスク利用時間)  
06:30-15:45 同業者ツアー (AFP2)  
09:00-12:00 常設委員会 (模倣品防止、コピーライト、意匠、エマージングIP、  
特許、商標)  
08:30-15:00 同業者ツアー (AFP1,3,4)  
10:15-10:45 休憩  
12:00-14:00 会長による昼食会(招待者のみ) / 昼食 (全出席者)  
14:00-16:30 ワークショップ  
18:30-19:00 フレンドシップミーティング (招待者のみ)  
19:00-22:00 **Cultural Night**  
22:00-24:00 ホスピタリティー・スイート

### 11月14日 (月)

- (08:00-19:00 登録、及び、インフォメーション、ツアー・デスク利用時間)  
08:00-19:00 Excursion Day Tours/Golf

### 11月15日 (火)

- (08:00-19:00 インフォメーション、ツアー・デスク利用時間)  
06:30-15:45 同業者ツアー (AFP2)  
09:00-12:00 第59回理事会 (理事のみ)  
08:30-15:00 同業者ツアー (AFP1,3,4)  
10:15-10:45 休憩  
12:00-12:30 理事のグループ写真  
12:30-14:00 昼食 (全出席者)  
14:00-17:00 第59回理事会 (続き・同業者家族を除く全出席者参加可能)  
15:15-15:45 休憩  
19:00-24:00 **Farewell Banquet**

## エクスカーション 11月14日、月曜

### EP 1: タゲイタイ・ハイランドコース (参加者制限なし: 8:30 – 15:30)

このコースにおいて参加者は、シャトルバスで、市の中心部を離れ、世界的規模のレクリエーション施設を誇るタゲイタイ・ハイランドでリラックスしたり、活動を楽しんだりして一日を堪能します。タゲイタイ・ハイランドは、マニラの中心地から60キロメートル離れたタゲイタイ尾根の中央に位置し、そこからは、世界一小さい活火山といわれるタール火山を一望することができます。

タゲイタイ・ハイランドでは、屋内バトミントン・コート、ボーリング・センター、屋内スカッシュ・コート、屋内温水プール、そして、屋内卓球場といった考えうる限りの贅沢な施設を利用することが可能です。野外活動では、ゴーカート、乗馬、マウンテンバイク等を楽しむことができます。さらに、ふれあい動物園や、9ホールのミニ・ゴルフコースもあります。リラックスしたい人には、カントリークラブの屋外プールを利用することもできます。さらに、2011年 APAA 理事会の「祝祭」のテーマに則り、フィリピンの伝統的なゲームや踊りにも参加できます。たとえば、グループでの鬼ごっこに似たゲームや、油の付いた竹を登る競技や、油の付いた椰子の実を受け取るゲームが催される予定です。踊りに興味のある参加者には、バンブー・ダンスの踊りのショーが行われます。フィリピンの国の踊りであるバンブー・ダンスでは、だんだん速くなる二本の竹の間で、挟まれないように、上手に踊り子が鳥の舞を優雅に踊るもので、必見に値します。グランドのあちらこちらには、甘党の人や冒険好きの人のために、売店が、フィリピンの街中で売られている商品を販売します。バロット（孵化直前のアヒルの卵を加熱したゆで卵）を食べずして、フィリピンのストリート・フードは語れません。

フィリピンで開催される APAA 会議の伝統として、エクスカーションの日は、スポーツの祭典の日でもあります。参加者は、いくつかのチームに分かれ、スポーツやフィリピンのゲームを競います。スポーツの祭典は、改訂版「Amazing Race (アメージング・レース: アメリカ合衆国 CBS のリアリティ番組)」で最高潮に達するでしょう。

### EP 2: APAA 2011年ゴルフ・トーナメント

(最大参加者数100名、追加料金200米ドル: 6:30 – 15:00)

APAA 2011年ゴルフ・トーナメントは、Tagaytay Midland Golf Club にて開催されます。このコースは、タール湖の中心に雄大なタール火山を望む全長 7,027 ヤード、パー72 のチャンピオン・コースで、自然の壮大な景観の中に、人工的に作り出したレイアウトが見事に調和したコースです。

ゴルフ・トーナメントのルールは、キャラウェイ方式(blind Callaway)に則ります。ゴルフコースへの往復のバス代は含まれており、バスは朝 6:30 に出発します。ティオフの時刻は、午前9時を予定しています。貸しクラブ(1セット 50 米ドル)を希望の方は、e メールにて(e-mail:[lbmenguito@tagaytayhighlands.com](mailto:lbmenguito@tagaytayhighlands.com)) 10月15日までに御連絡下さい。

### EP 3: タール火山・トレック (最大参加者数40名、追加料金50米ドル: 7:30 – 15:30)

健脚の方で、ハイキングがお好きな人にお勧めのコースで、タール火山へのトレッキングを楽しみます。タゲイタイ尾根から臨むことのできるタール火山は、タール湖の中にある島を形成しています。タール火山のさらにユニークなところは、そのクレーターの中に「クレーター湖」と呼ばれる湖があることです。

タール火山・トレックでは、カルデラを眺望できるタール火山の縁まで行きます。まずバスで、風光明媚なタゲイタイ高原をぬけ、バタンガのタリセイという町までドライブを楽しみます。そこから参加者は、バングカと呼ばれるモーター付きのカヌーに30分乗り、タール湖を渡り、火山島まで行きます。さらに、以前、フィリピンのアメリカ合衆国大使であったクリスティー・ケニーの名前に由来するクリスティー・ケニー・トレックを45分から1時間かけて踏破します。

### EP 4: タール・タウン・ヘリテッジ・ツアー (最大参加者数80名: 7:30 – 15:30)

歴史や文化に興味のある方には、見逃すことのできないツアーです。このツアーでは、フィリピンで最もスペイン植民地時代の面影を残しているといわれるタール・タウンを訪問します。まず、ツアーは、アジアで最大のカソリック教会との評判の高い **Taal Basilica** を訪れます。この教会は、ローマの **St. Peter's Basilica** に良く似ているといわれています。続いて、文化遺産であるいくつかのヘリテッジ・ハウスを見学し、次に、キャセイセイ聖堂を訪れます。この聖堂には、キャセイセイの聖母像を安置し、癒しの聖水の井戸があるといわれています。このツアーの参加者は、最後に、タール市場を訪れ、ここで、パインアップルの葉で作った織物、バロング刺繍、装飾バリソン・ナイフ、ココナッツ・シュガー、ピーナッツ・ブリットル、ココナッツ・ミルクで作ったお粥等のココナッツ製品や、美味しい自家製の豚肉のソーセージといったバタンガ地方の、贈り物に最適な品々を購入することができます。

### EP 5: タゲイタイ料理ツアー (最大参加者数40名、追加料金45米ドル: 8:00 – 15:30)

タゲイタイは、タール火山の雄大な姿もさることながら、その豊富な料理法でも有名です。参加者は、タゲイタイの粋を集めた美味しい料理を、バイキングで楽しむことができます。まず初めに、タゲイタイで一番美味しいといわれるココナッツ・パイの店 **Loumar's** に立ち寄ります。続いて、タゲイタイにある有機養蜂場 **Mary's River** 養蜂場を見学します。昼食は、**Bawai** というベトナム料理の店で、伝統的なベトナム料理を堪能します。この店は、**Bawai** という愛称で呼ばれている一人の女性が切り盛りしています。**Chateau Hestia** ガーデン・レストランでは、自家製アイスクリーム、パナ・コタ (イタリアのデザート)、レモンパイが楽しめます。続いて、参加者は、**Yoki's Treasure** 及び水耕農場を訪れ、工芸品の収集を鑑賞するとともに、ここでは、新鮮な野菜も購入することもできます。ツアーは、**Miele Guide** で、アジアのトップ20のレストランの中で、17位にランクされている **Antonio's** のカクテルで締めくくります。

## 同伴者プログラム

### AFP 1: ミュージアム・ツアー （最大参加人数 90名： 09:00 - 15:00）

芸術愛好家にとって、フィリピンで最大のメトロ・マニラにある2つのミュージアムへのツアーは、見逃すことができません。

まず最初に、マカティのビジネス地区の中央にあるアヤラ博物館を訪問します。フィリピンの有名な文化施設の一つであるアヤラ博物館には、フィリピンの歴史に関するジオラマや、著名なフィリピンの画家たちによる作品の素晴らしいコレクションがあり、フィリピンの文化、芸術、歴史について学ぶにはもってこいの場所です。昼食は、1930年代に建設された古い豪邸をレストランに改装した **La Cocina de Tita Moning** で、長い間受け継がれた伝統的な料理を、ゆったりといただきます。

昼食の後は、マニラ市の中心に位置するフィリピン国立博物館に向かいます。1900年代の初期にアメリカ人の建築家 ダニエル・バーンハム氏によって建設された博物館の建物、及び、そこに収蔵されている歴史的・文化的芸術品の数々に至るまで、フィリピン国立博物館は、フィリピンの文化的伝統物や遺産の宝庫であり、そこを訪問する人に、長い歴史の中で伝承されたフィリピンの豊かな文化遺産に関しての鳥瞰図を与えてくれます。

### AFP 2: コレヒドール要塞 （最大参加者数 100名： 06:30 - 15:45）

1時間フェリーに乗り、コレヒドール要塞に行きます。この要塞は、マニラ湾の入り口を攻撃から守るために建設された4つの要塞島のうちの最大の要塞があった島で、第一次世界大戦前に多数の強力な砲台によって要塞が構築されました。「岩の要塞」あるいは、「東洋のジブラルタル（難攻不落の地）」と称されたように、マニラ湾の入り口に設置された防衛施設と共に、地下に張り巡らされたトンネルや強力な防御陣営を誇ったコレヒドール要塞は、第二次世界大戦の時に、日本軍の行く手を阻みました。かつて、連合軍司令長官ダグラス・マッカーサーが司令部を置いたマリント・トンネルと呼ばれた地下壕を再現した光と音のショーは必見です。当時は、コンクリートで強化された壁、床、頭上を守る橋梁、新鮮な風を送り込むための通風装置、東西を結ぶ通路に併設された路面鉄道を備えたこの要塞のマリント・トンネルは、地下の貯蔵庫の役目を果たすと共に、防空壕として、病院や司令部、さらには、店までも備えていたのです。

### AFP 3: オールド・マニラの魅力 （最大参加者数 200名： 08:30 - 14:00）

オールド・マニラの魅力を発見しに、少し昔にタイム・スリップしませんか。このツアーでは、まず、歴史的に有名なリサール公園を訪れます。リサール公園の中にあるリサール記念碑の下には、フィリピンの国家的英雄であるドクター・ホセ・リサールが眠っています。このツアーでは、さらに、スペインの植民地時代に建設された「城壁に囲まれた古い城壁都市」に向かいます。1945年まで、植民地政策によりスペイン軍、アメ

リカ合衆国軍、日本軍の司令部が置かれたサンチャゴ砦、1571年に立てられたフィリピンで最も古い建造物であるサン・オグスティン教会、16世紀から19世紀にかけての家具や調度品を納め19世紀の豪邸を再建したカサ・マニラといった史跡を訪れ、フィリピンの歴史を再発見します。最後に、海に面して砲台の陣をしいたバルアート・デュ・サンディエゴに立ち寄ります。

**AFP 4: ショッピング・ツアー：思う存分楽しもう（最大参加人数40名：10:00-15:00）**

このツアーの参加者は、フィリピンで有名なグリーンヒルの“Tiangge”（ショッピング・センター）で、輸出品並みの良質な商品の数々を、廉価にて購入することができます。手織りの布や、刺繍をほどこした華麗な装飾品、様々な形や大きさの南太平洋産の真珠に至るまで、このユニークな買い物のツアーは、フィリピンの活気ある市場の様子を直接肌で感じることができるとともに、お土産を探すのに絶好の機会を与えてくれるでしょう。